

キャラクター名

花菱良哉

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル キュマイラ		ワークス	UGN	エージェントA	カヴァー	中学生
	オプショナル		年齢	14		性別	
覚醒	償い		衝動	恐怖		初期侵食率	35%
出自	結社の一員		経験	トラウマ		邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	34
肉体	5	1	0			6	行動値	6
感覚	1	0	1			2	(非装備時)	6
精神	0	0	1	1		2	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
妖刀	白兵	6r+5	4	10		
斬撃無尽	白兵	6r+5		20		C8。<コンセントレイト><獣の力>
刃々応断	白兵	8r+5		20		C7。100↑データ。<コンセントレイト><獣の力><でかくる>

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
妖刀		ロイス			
春日プラン		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
コネ：噂好きの友人		特異点	P	N	
コネ：傭兵		春日恭二	P 執着	N 恐怖	
コネ：ハッカー		風早空	P 信頼	N 疎外感	
ウェポンケース		聖ヶ丘 大悟	P 連帯感	N 不快感	
		タナカタヤマ	P 好奇心	N 恥辱	
		砂塵望	P 尽力	N 嫌気	
		パーガトリー	P 尽力	N 脅威	
		最大財産P:	8	残り財産P:	4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：キュマイラ	2	2	メジャー			シンドローム		
効果：組み合わせたC値-Lv								
獣の力	5	2	メジャー	武器		白兵		
効果：白兵攻撃+[Lv*2]								
ジャイアントグロウズ	2	5	メジャー	武器	範囲(選択)	白兵	100↑	
効果：対象を範囲(選択)化。攻撃力+2D。シナリオLv回								
異世界の因子	1	5	オート	視界		自動成功	80↑	
効果：シーン内で使用されたエフェクト一つをLv1で取得								
異形の歩み	★							
効果：壁や天井を移動できる								
獣の直感	★							
効果：天候や地震を予測できる								
猫の瞳	★							
効果：暗闇を見通す								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

(経験点20のユニークアイテム取得。使用経験点に反映できないので20余りで適正)

「こんなにしんどい世界でも。あいつは生きると呪ってくれた」

はなびしりょうや。よきかなじゃない。  
レネゲイドとか関係ない犯罪組織の一員（多分エセ宗教とかそんなん）を親に持ち、その思想に染められて小学生頃まで生きてきた。きつと将来は親と同じように組織の一人として生きていくんだろうなとおぼろげながら思っていた所、後に親友になるなれなれしい男の子に出会う。  
駄菓子子の買い方からアニメや漫画の面白さ、一般常識や生きる事の楽しさを教えてくれた親友。けれどもその日々は中学に進学したその日に“ディアボロス”春日恭二に出会う事で崩壊した。  
よく知らない眼鏡の大人に連れられた親友は、腕を刃に交わせせ良哉を貫く。苦しいとも嬉しいともつかない歪んだ笑みで告げる。

「特別になリたかった」「お前が羨ましかった」「俺は優しくなんかない」「お前みたいな変な奴を、俺が支配したかっただけなんだ」

――それからの数日は覚えていない。UGN、FH、レネゲイド、ロイス、沢山の事を聞いたけれど、グチャグチャの頭でただ親友を追って殺す事だけを考えて、大人たちの助けもあってそれは果たされた。  
血塗れで、傷がもう塞がらなくて、命を失いかけた彼は。(けれどやっぱりけ物で、優しくったかつての面影とは違う呪いを吐いた。

「いやだ、しにたくない、おいでいくな。俺はまだ、こんな所で終わりたくない」「お前しか俺を覚えてないんだ。全部消されるのは嫌だ。いやだ」「俺は、お前しかいないんだ」「お前が、俺を、忘れるな」

良哉にとって、それは生きる意味であり、今も生きている傷だ  
\*\*\*